



NO.

# いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

謙虚な気持ち

住職 平田真純

連日、さまざまな事件が報道されています。よく「魔がさす」とか「悪魔のささやき」などという表現もなされますが、私たち人間とは弱いもので、偏見・誤解を捨てられず、自分の意志とは逆に流されてしまうことも多いようです。

仏教では（仏教だけではないかもしれませんが）、「魔」というのは、外的要因というだけではなく、自分の心の中に潜むものでもあると説明されます。神仏に真摯に祈ること、神仏の前で修練を積むことは、ここにより深く気づかせていただける功德があると思います。

もちろん頭の中や感覚でわかったところで、実際の生活の中で体現できなければ意味がありませんので、水屋や塗香で身を浄めたり、懺悔文やお経・真言を称えたり、実際の行動で体得する努力をしたりします。

聖天様を信仰するにおいて、一番大事なことは、「聖

天さまのお導きを大切にする」ということではないでしょうか。

人間、成功しても失敗しても、我見にとらわれ、それを引きずります。特に成功すると、自分は正しいと思いががる気持ちが強くなってきます。聖天様を信仰されている方であつたら、信仰の仕方も正しかったんだ、聖天様は私の味方だと確信します。そしてややもすれば、自分は正しい、他は間違っていると思いつる可能性もあります。それは私たち誰にでも起こりうることであります。

これは、信仰にとっては「油断」です。少しでもこのような気持ちが芽生えれば功德は消え失せます。真剣に祈る人ほど、その油断は大きなものになります。真剣勝負の場では一瞬の油断でも命取りになります。

ただ、だからと言って、聖天様の御宝前で、むやみやたらに緊張することはありません。神仏の前では、常に謙虚であることが大切であつて、自分の浅はかな邪念を払って、心を0にして、聖天様のお導きに素直になることを心がけましょう。これは私見ではありません。多くの経典に説かれていることです。

# 待乳山だより

## 節分会

二月三日、毎年恒例、豆を撒き、福を招く節分会が今年も執り行われました。浅草寺一山の御住職の方々にご出仕していただき、当山住職の平田導師の下、法要を行いました。般若心経の読誦が始まると年男のみなさんは「福は内」の声と共に威勢よく福豆を撒き、参拝に来た方々からは大きな歓声があがりました。その後も境内各所で豆まきが行われ、境内に溢れんばかりだった参拝客はみな今年の福を十分にいただいたようです



年男御芳名(敬称略)  
 谷川智典 大井光晴  
 浅野正三 細川好太郎  
 福田廣光 宮城久芳  
 橋本和夫 大野賢次  
 上嶋三千和 瀧政崇  
 神崎義己 岩崎顕悟  
 宮田忍 西川晃敏  
 山形公二 松浦昌孝

## たけした事務所 御法要

立春が明けた二月六日、たけした事務所様の大神若法要が厳修されました。たけした事務所は毎年当山にて法要を行っており、今年もおおよそ二百名の方が参加されました。内陣だけでなく外陣にも多くの方が詰めて座り、今年一年の厄除けを御祈願されました。



## 信徒旅行のご案内

五月二十八日(土)〜二十九日(日)、信徒旅行を行います。



今年の信徒旅行は、比叡山延暦寺の居士林にて修行体験を行います。広く一般の方々に開放された修行道場ですので、どなたでも参加していただけます。また、比叡山唯一の聖天堂(最乗院)へお参りする他、比叡山麓坂本にある律院にて千日回峰行を満行された阿闍梨様のお護摩、並びに数珠によるお加持をいただく予定です。  
 応募締め切り 三月三十一日(木)  
 参加費 四万五千円(交通代食事代含む)  
 定員 四十五名(最小催行二十名から)

## お宮参り 一月二十四日

栗田權くんのお宮参りを行いました。ご宝前でお加持が授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。



## 安全講祈祷会 受付のご案内

四月十七日(日) 午前十一時  
 用紙にご指名とご希望のお守りの項目を丸で囲み、事務所にて受付ください。  
 講金 一、五〇〇円(一躰増毎五〇〇円)  
 送料は十躰毎に二〇〇円



## 奉納

福寿園さんより充電式ブロワー一台を御奉納いただきました。当山はいちようをはじめ落ち葉が多いため、ありがたく使わせていただきます。

## 行事報告

一月二十日(水)、百味講法要を厳修いたしました。たくさんのお供物を供え、法要によってご供養いたしました。

朝まいる会 二月度表彰者(敬称略)  
 半年 木村妙子 五年 相吉英太郎  
 十年 小林敦子

# 待乳山本龍院 三月の行事

## 稲荷祭大法要

三月十三日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円

旧暦初午の日に、当山を鎮守されております待乳山稲荷尊の前で稲荷祭を執行いたします。

稲荷とは「稲成り」を指します。「報恩経」では、種籾が何倍もの実となる稲穂を「一粒万倍」と呼んでおります。

稲荷様は実を結ぶということから、事業繁栄、商売繁盛の御利益を授けてくださると言われております。たとえ小さくても功德を積みめば、稲穂のように、大きな成果を実らせて返してくださることでしょう。

稲荷祭当日は多くのお供え物をして、稲荷尊をご供養いたします。お供えの御奉納も受け付けております。今年の稲荷祭は日曜日ですので、ぜひご家族揃ってご参拝ください。



## 婦人講

三月二十日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

三月二十日、婦人講大般若法要を執行いたします。

当山の婦人講は大正元年に発足いたしました。当時の本堂は享保時代に建てられたものだったため、老朽化が進んでいました。その修繕のために女性の信徒の方が中心となって熱心に勧募をつのり、六百人を超すほどの講員の方が参加されたそうです。

婦人講の講金によって、仏具など様々なものが御奉納されました。特に震災や戦災によって当山が被災した際は、復興のために多大な貢献をしていただきました。歴史ある当講を今に伝え、聖天様とご縁を結ぶためにもぜひご参加ください。男性の方のお申し込みもお待ちしております。



# 二月行事予定

## 稲荷祭

三月十三日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

旧暦の初午の日に、各家の除災招福、家内安全、商売繁盛をお祈りいたします。

## 婦人講大法要

三月二十日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

当山の興隆に貢献されてきた伝統ある講です。皆様の家内安全、身体健全を祈願いたします。

## 朝まいり会

三月一日〜七日 午前八時から八時半 会費

月 五〇〇円也

都合のよい日にご参加ください。最終日には、お勤め終了後に食事作法を行います。

## 日曜勤行

三月十三日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

## 写経の会

三月十三日(日) 午前十時/午後一時 会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

## 夜間開堂 坐禅の会

三月二十六日(土) 午後六時〜八時 定員二十名 参加費 五〇〇円

今月は、本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集は締め切らせていただきます。

## 合同大般若法要

三月二十五日(金) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

## 四月の行事

安全講祈祷会 四月十七日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也(一鉢増每五〇〇円)

皆様の諸事の安全を祈願し、パウチ加工したお守りをお授けいたします。

## ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈祷料

別座祈祷 壱万円以上(一週間)

浴油祈祷 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日